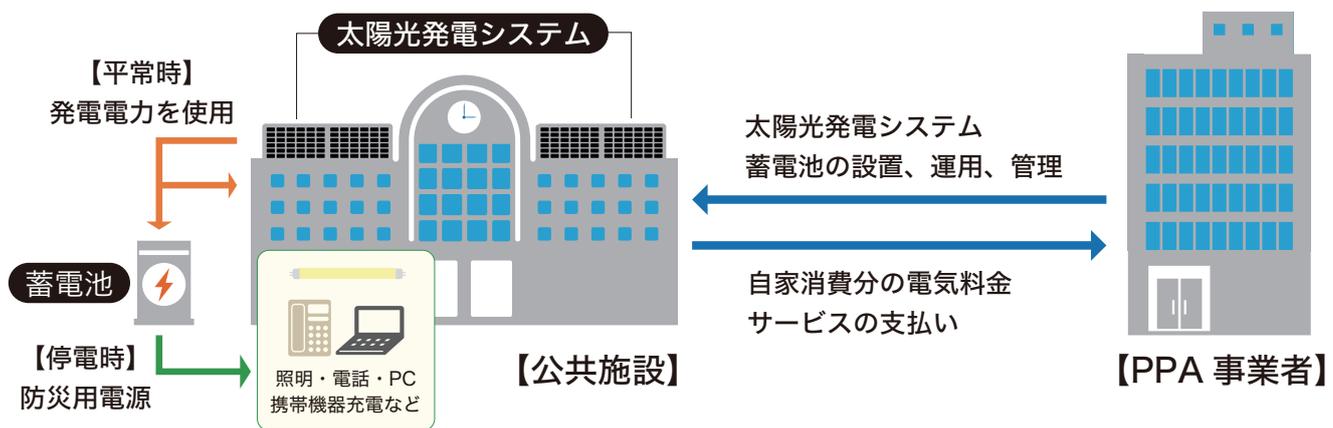


小中学校での「PPAモデル」の活用 ～千葉市様～

令和2年度から3年間で避難所となる市有施設に順次、太陽光発電設備と蓄電池を導入しています。平常時の温室効果ガス排出の抑制と、停電時の電源確保を同時に実現する事業です。



千葉市内の小中学校に太陽光発電＋蓄電池を導入



設備設置



※一部の施設で陸屋根専用架台 X-3 が採用されました。

千葉市のプロジェクトについて

千葉市様

サービス提供



EPCとして参画



その他事業者様